

〈合戸村中遺跡から出土した主要埋蔵銭〉



▲開元通寶
(唐:621年)



▲崇寧重寶
(北宋:1102年)



▲至元通寶
(元:1285年)



▲朝鮮通寶
(李:1423年)



▲大世通寶
(琉球:1454年)

市内合戸地区



埋蔵文化財包蔵地

合戸村中遺跡

History

キラリを再発見

ゴミ穴掘削中に発見された 大量埋蔵銭

昭和40年4月2日、合戸字村中の茶畑で子どもたちが草取り作業中に草を埋めるためのゴミ穴を掘った際に、大量の古銭が地下1.5mの場所から発見されました。その後、この場所が合戸村中遺跡として登録されました。

発見された埋蔵銭は4062枚あり、開元通寶(唐:621年)から大世通寶(琉球:1454年)までの中国や朝鮮、琉球からの渡来銭を主体とした中世のものです。最新銭の大世通寶は琉球の銭貨で、その初鑄造年が1454年であることから、15世紀後半から16世紀後半の戦国時代に埋蔵されたものと考えられます。合戸村中遺跡から発見された、大世通寶や至元通寶(元:1285年)、崇寧重寶(北宋:1102年)などは、中世の埋蔵銭としては極めてまれな発見です。中でも、至元通寶については国内初の出土例であり、当十銭の崇寧重寶も全国で数例しか確認されていません。

※埋蔵銭の()内は、国名とその貨幣の初鑄造年です。

照会 社会教育課 ☎0548③1129

Atomic

暮らしと原子力

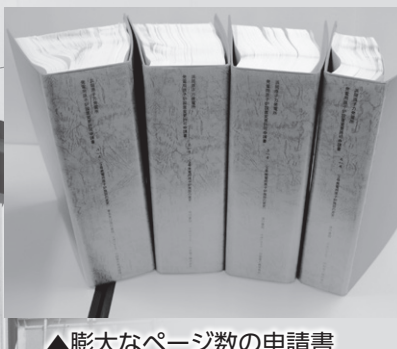
3号機の設置変更許可申請を
市と市議会へ説明



浜岡原子力発電所3号機

中部電力は、浜岡原子力発電所3号機の新規性基準への適合審査を受けるため6月16日、原子力規制委員会に原子炉設置変更許可申請書を提出し、臨時議会全員協議会で報告・説明しました。

原子炉設置変更許可申請は、平成26年2月の4号機に続き、2基目となります。石原市長は「国には厳正な審査をお願いする。申請と再稼働は結び付かないと考えている」と話しました。



▲膨大なページ数の申請書

今後は、中部電力が進める地震・津波対策や重大事故対策などの妥当性について、新規性基準による審査を受けることとなります。